

こうちこどもファンド事業成果報告書(子ども用)

※この報告書は子どもたちが自分の言葉で書いてください。

令和 6 年 2 月 29 日

1 団体の名前

ふりがな	えん
団体の名前	えん

2 活動のテーマ

伝統工芸品×地域活性化

3 活動の内容

① 活動の時期	② 活動の内容
2023年7月	①今後のスケジュール立案 ②ワークショップ開催に向けての準備 ③おまち学園イベント出展
2023年8月	①8/15 伝統工芸品×地域活性化をテーマにした「伝統工芸品で高知のえん結び」開催 ②8/22 市長と語ろう会参加
2023年9月	①ワークショップの報告会 ②伝統工芸品に関するアンケート実施 ③Kaji/椿/人造自然の参加
2023年10月	①紙の博物館による【夜の紙博～光る森と水の音～】の参加
2023年11月	①こうちこども未来ビレッジに向けての準備
2023年12月	①12/3 こうちこども未来ビレッジの出展 ②伝統工芸品に関するアンケート実施
2024年1月	①草流舎による土佐和紙漆喰張子人形絵付け体験に参加 ②活動報告会に向けた準備
2024年2月	①伝統工芸品×地域活性化の活動報告会を開催 ②活動報告をまとめたチラシの作成 ③こうちこどもファンド報告会に向けた書類作成

4 まちづくりの効果

活動後の感想と、自分たちが活動して、まちがどんなふうに良くなったと思うか書いてください。

<感想>

今回の活動を終えて、実感したのは私たちが思っている以上に伝統工芸品というテーマは広く深いものであるということだ。様々な伝統工芸品に関するイベントやワークショップに参加して、どれもが同じ方法で取り組んでおらず、一口に伝統工芸品といっても幅は広いものだと知った。

<まちが良くなったと思うこと>

色々な人が伝統工芸品に関して多くのアプローチをしている中で、私たちのような学生が取り組めたことは大きな効果を持つのではないと思う。
ワークショップを開催し、県内外の人を問わず参加していただいたことで、伝統工芸品を知る・触るきっかけを提供できたことはいい機会になったのではない。私たちの提供するコンセプトを知ってもらい、ひとりひとりが伝統工芸品とは何か、その大切さを学ぶことで高知の伝統工芸品（またその産業）は扉を増やすことができたと感じている。

5 気づきポイント

活動を通して気づいたことや工夫したこと、反省点などがあれば書いてください。

<活動前にたてた目標や計画通りにできなかったところ>

初期から「伝統工芸品×地域活性化」という活動目標掲げて活動してきたが、イベントやワークショップを思うように開催できなかったこともあり、目標として掲げていた地域活性化まで活動を広げられなかったと感じる。また、幅広く伝統工芸品を扱っていききたいと計画を立てていたものの、質の高い資料や発表をするためにも、どうしても土佐和紙一辺倒になってしまっていた。

<なんでできなかったのか、何につまづいたのか>

各メンバーがそれぞれ別の活動と並行して行っており、情報の共有がスムーズでなかったり、メンバー全体の予定がなかなか合わなかったこともあるが、なによりも学生であり子どもである以上、行動力の低さや、イベントの主催や参加に関して仕事の分担に偏りが出てしまっていたことが何よりの原因であると感じた。

<つまづいたとき、活動を進めていくためにどんな工夫をしたか、または、どうすればよかったと思うか>

工夫点としては意見や案などが錯綜した時に、全員の意見が会うまでミーティングを繰り返すことで全員が納得するようなプランを考えたという点。また今後の改善点としては情報の共有をもっとスムーズに行いたいと感じた。1人しか知らない情報などが多数あるとプランの考案が硬直するためである。

6 今後の展望など

今後自分たちの活動をどのように続けていきたいかなど、自由に書いてください。

今回1年間かけて、伝統工芸品に関するアンケートを高知県内外最大200人行った。その結果から、伝統工芸品を知っている人が多いこと、興味を持っている人が多いことを知ったが、伝統工芸品を高知県の魅力としてあげている人はいなかった。一方で、高知市はりまや橋商店街にて土佐和紙の手漉き体験を行った際には、50人以上の方に参加いただき、紙漉きの機会が大切だということや、楽しかったなどの意見を頂けた。よって、私たちは紙漉きはもちろん、それ以外の伝統工芸品の体験ワークショップを通して、高知の伝統工芸品の魅力を伝えていけると考える。台風によってクルーズ船の来航が中止となり、海外の方と伝統工芸品を通じた関わりを実現することができなかったため、伝統工芸品を使って地域活性化を促すことができたとは言えないが、高知県内の方へ高知県の伝統工芸品の魅力を知ってもらい、再確認できる機会となったように考える。

7活動の様子がわかる絵や写真があれば紹介してください♪



8月15日
はりまや橋・京町商店街にて



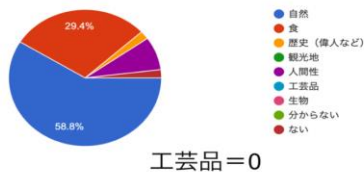
①高知市学生活動交流館

→土佐和紙、土佐打ち刃物など高知県の伝統的工芸品について自分たちで調べたことをポスターにまとめギャラリーウォークできるように

②はりまや橋商店街広場

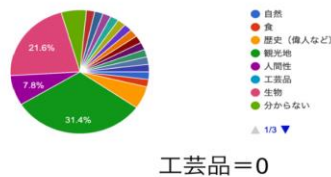
→いの町紙の博物館様にご協力いただき、土佐和紙の手漉き体験を行った

あなたは高知県が持つ「一番」の魅力は何だと思いますか？
51件の回答



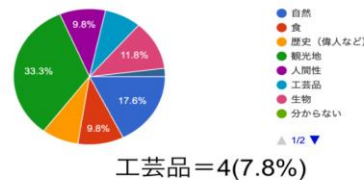
工芸品=0

逆に高知県が持つ魅力的で「ない」ところは何か？
51件の回答



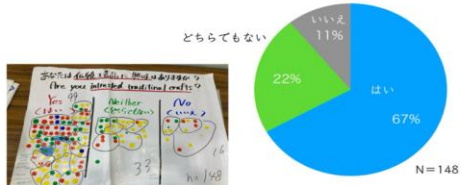
工芸品=0

あなたが「知りたい」高知県の魅力とは何ですか？
51件の回答



工芸品=4(7.8%)

あなたは伝統工芸品に興味はありますか？



図はあんの活動期間中、聞いた伝統工芸品の意識調査の結果の抜粋である。

回答傾向として、伝統工芸品は知っているし興味はあるが、高知県の魅力として上がっていない。
考えられる理由としては、伝統工芸品を深く知る機会がないことや、伝統工芸品のイメージとして職人や文化財、手作業などの気軽に触れられるものではないことが挙げられる。

団体名 えん

令和5年度決算報告書

収 入	収入の内容	予算額	決算額	内訳(単価・人数など)
	ファンド助成金	200,000 円	47,802 円	
	こども未来ビレッジ寄付	0 円	1,000 円	
			円	
	合 計	200,000 円	48,802 円	

支 出	支出の内訳	予算額	決算額	内訳(品名・単価・個数など)
	謝礼金	40,000 円	0 円	
	交通費	40,000 円	0 円	
	広報用チラシ	4,718 円	5,748 円	A4チラシ300部【①】
	広報用ポスター	24,588	16,917 円	B2ポスター 10部・折りパンフレット外3つ折り 200部 16,917円【②】
	広報用パンフレット	4,450 円		
	材料費	60,000 円	10,000 円	土佐和紙手漉き体験講座の材料費【③】
	雑費	26,224 円	16,518 円	・施設代: 7,000円【④】 ・WSボランティアに配布した飲料水代: 449円【⑤】 ・えん紹介用ポストカード(領収書郵送込み): 3,411円【⑥】 ・えん紹介用名刺(領収書郵送、送料込み): 2,214円【⑦】 ・イベント参加賞: 2,369円+694円=3,063円【⑧・⑨】
	合 計	200,000 円	48,802 円	